

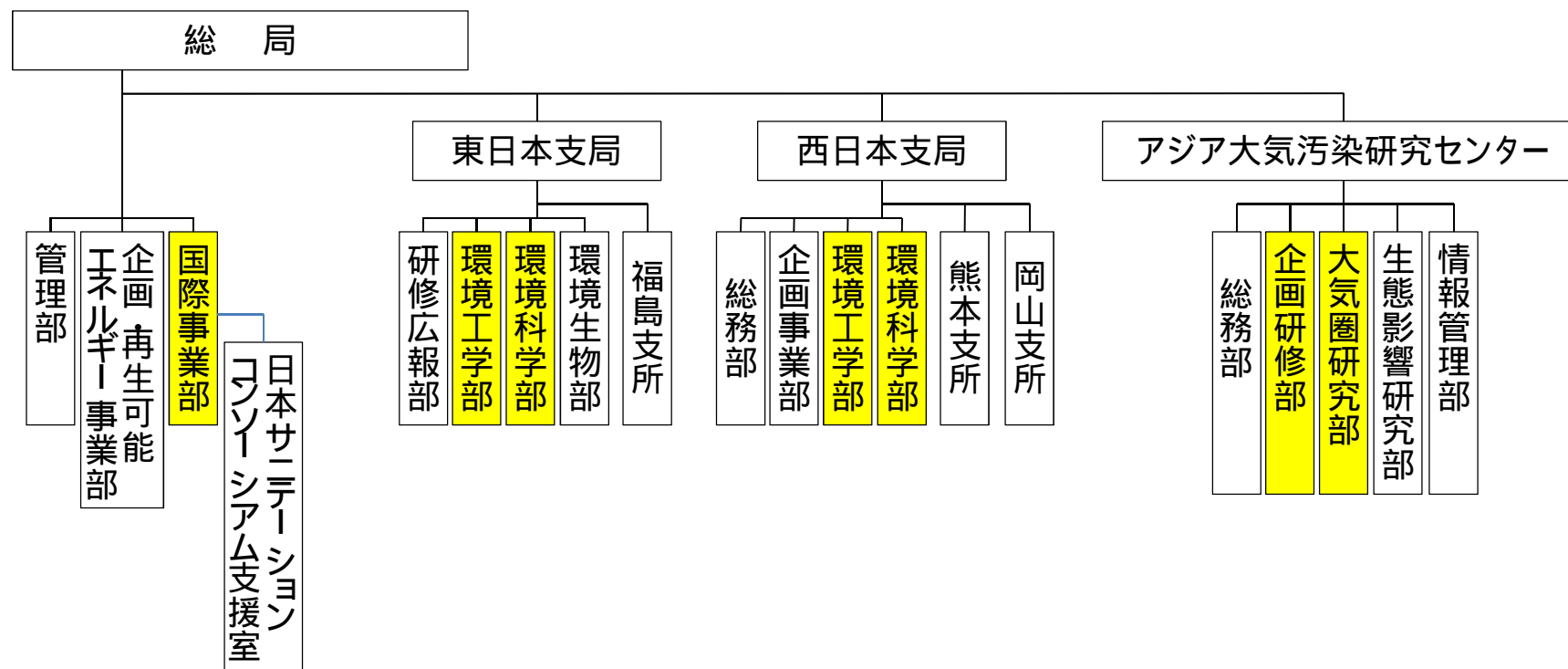
# 一般財団法人日本環境衛生センター

## 一般財団法人日本環境衛生センターの組織概要

### 設立目的:

日本環境衛生センターは、生活環境及び地球環境の保全並びに生活衛生の確保に関する調査研究、普及啓発、人材の育成及び技術的支援等により、我が国及び地球規模での環境の保全と快適な生活環境の確保を推進し、もって公共の福祉の増進に寄与することを目的とする。

### 組織:



## これまでの活動

### 東日本支局 環境科学部:

1. 中国におけるダイオキシン類及びPOPsモニタリング技術キャパシティビルディング (JICA 日中友好環境保全センタープロジェクト及び循環型経済推進プロジェクト)
  - ✓ 機器分析法及び生物検定法によるダイオキシン類計測技術の標準化
  - ✓ 国家環境保護ダイオキシン類汚染抑制重点実験室建設への支援
  - ✓ 国家環境保護ダイオキシン類汚染抑制重点実験室に対する学術委員としての技術支援
2. JICA「大気環境管理キャパシティビルディング研修」の実施 (中国、モンゴル、ベトナム、タイ、マレーシア、ミャンマー、インドネシア、カンボジア、スリランカ、イラン、メキシコ、エジプト、コソボ、モーリシャス)
3. 大気中のPM2.5モニタリング訪日研修 (韓国)
4. 東アジア地域におけるPOPsの遠隔地モニタリング協力
  - ✓ 東アジア8カ国における試料採取技術の指導 (モンゴル、ベトナム、ラオス、カンボジア、タイ、フィリピン、マレーシア、インドネシア)
  - ✓ スtockホルム条約の有効性評価に資するモニタリングデータの取得支援
5. 国立ダイオキシン研究所建設に係る設計サポート (タイ)
6. ダイオキシンモニタリング研究所建設フィージビリティスタディコンサルタント (フィリピン)
7. 国連環境計画/地球環境ファシリティ信託資金による「アジア地域における残留性有機汚染物質モニタリングキャパシティビルディング」における技術サポート

## これまでの活動

### 東日本支局 環境工学部:

1. 中国城市建设研究院との廃棄物処理技術に係る交流協定
  - ✓ 公開された廃棄物分野における技術・施策・教育等に関する情報の交換、国際セミナーを主催する際の相互招聘、双方が発行する定期刊行物を共有する
2. JICA「中国 循環型経済推進プロジェクト/サブプロジェクト4:廃棄物の適正処理の推進」への専門家派遣

### 総局 国際事業部:

1. JICA課題別研修
  - ✓ 廃棄物総合管理及び3R
  - ✓ アジア地域有害廃棄物管理・適正処理
  - ✓ 水環境モニタリングコース
  - ✓ 大気環境管理キャパシティビルディング
2. JICA地域別研修
  - ✓ 有害廃棄物。適正処理を基盤とするアジアの循環型社会形成(中国、マレーシア、フィリピン)
3. JICA国別研修
  - ✓ 中国固体廃棄物適正管理

### 西日本支局:

1. 中国江蘇省における環境技術適用可能性現地調査
2. タイにおける廃棄物埋立処分場計画支援

## これまでの活動

### アジア大気汚染研究センター:

#### 1. 東アジア酸性雨モニタリングネットワーク(EANET) ネットワークセンターとしての活動

- ✓ 参加国(13カ国): 中国、インドネシア、日本、韓国、ラオス、マレーシア、モンゴル、ミャンマー、フィリピン、フィリピン、タイ、ベトナム、ロシア
- ✓ EANETモニタリングデータ(湿性沈着、乾性沈着、陸水、土壌・植生)及び関連情報の収集、保管及び評価
- ✓ 参加国に対する技術支援(技術ミッション、技術管理者会合、訪日研修等)
- ✓ 精度保証・精度管理活動(マニュアル作成、分析機関間比較調査等)の実施
- ✓ 酸性沈着に関する調査研究(観測技術の開発、化学輸送モデル評価等)の実施
- ✓ 酸性沈着に関する情報の普及啓発活動の実施

#### 2. 中国に関する活動

- ✓ 重慶(2地点)、西安(2)、厦門(2)、珠海(1)、にEANETモニタリング地点が設置
- ✓ 全7地点で湿性沈着、重慶、厦門及び珠海の各1地点で自動測定によるガス(SO<sub>2</sub>、NO<sub>x</sub>)と粒子(PM<sub>10</sub>)濃度のモニタリングを通年実施
- ✓ 現地観測は各都市の環境モニタリングセンター、国内取りまとめは中国国家環境モニタリングセンター、活動全体の対外窓口は環境保護省国際協力部が担当
- ✓ 2013年にEANET公式会合(第13回科学諮問委員会)を初めて中国(厦門)で開催
- ✓ 調査研究活動としてMICS-Asia(東アジアにおけるモデル比較研究)ワークショップを毎年開催(大気物理研究所が共催)
- ✓ JICA国別研修「オゾン及びPM<sub>2.5</sub>抑制のための計画策定、能力向上プロジェクト」を実施(2014年度から3カ年)

## 今後の活動予定

- 大気環境モニタリング(PM2.5、オゾン、VOC、PM2.5中の有害成分など)に係る技術協力
- ✓ モニタリングサイトの立地の選定、設置に関する技術協力・支援
  - ✓ 測定方法に関する技術協力・支援
  - ✓ 測定データの品質管理手法に関する技術協力・支援
  - ✓ 評価対象物質のサンプリング方法の適正化
  - ✓ 環境影響、健康リスク評価のための成分分析手法検討
  - ✓ モニタリングデータの収集・解析及びデータベース化
  - ✓ 地域環境対策に向けた共同研究テーマの探索・共同研究の実施及び調整
  - ✓ 上記に関する訪日研修、専門家派遣、シンポジウム等の開催

発生源解析(CMB法、PMF法、レセプターモデルなど)

行政担当者、企業環境保全担当者あるいは市民に対する環境教育資料の整備

シミュレーションの適用可能性などの検討

排出源対策技術(低コスト技術を含む)の共同研究コーディネーション